

本邦における多枝冠動脈病変、複数の動脈硬化因子を持つ急性冠症候群患者の心血管イベント発生率に関する研究

CSLベーリング株式会社、国立研究開発法人国立循環器病研究センター

研究の概要

- 急性冠症候群（ACS）では急性期血行再建術の進歩に加えて、低比重リポ蛋白（LDL）低下療法の強化による心血管イベントの再発抑制が予後改善に寄与している。
- CSLベーリング株式会社で開発中のアポA-1を含む新規薬剤CSL112は、ACS患者でのコレステロール引き抜き能を高めることが報告されており、ACS発症後の早期の再発率を低下させることが期待される。現在、ACS患者を対象とした心血管イベントのリスク低下におけるCSL112の有効性及び安全性を評価する多施設共同国際試験を実施している。
- 本研究においては、CSL112の臨床試験から得られたデータ及び国立循環器病研究センターで収集するACS患者の臨床データを用いて、本邦におけるACS患者の心血管イベント発生率に関する研究を行う。

CSLベーリングについて Driven By Our Promise™

CSL Behring
Biotherapies for Life™

CSLベーリングは、血漿分画製剤のグローバルパイオニアとして長年培ってきた豊富な知識と経験をもとに、遺伝子組換え製剤を含む生物学的製剤を専門とし、生命の可能性に挑戦し続けています。血友病・救命救急・止血領域、免疫・希少疾患領域、移植領域、呼吸器領域及び循環器領域において、革新的な製剤を創出することで、世界中の患者さんやご家族の生活がより充実したものになるように願っています。